

総点検 令和4年度行政評価 役場の仕事

■お問い合わせ
政 4 | 2 5 1 1
推 4 | 2 5 1 1
進 内線 2 3 3
課 ☆ 4 | 2 5 1 1 0 2

【行政評価を実施しました】

今年度の行政評価は、5つの事務事業と80の公共施設を対象に、町民18名で構成する「下川町総合計画審議会」で、3つの部会に分かれて実施しました。

その結果が11月7日に麻生翼会長から町長へ報告されましたので、一部を抜粋して紹介します。なお、町のホームページから、全体をご覧いただけます。



総合計画とは

町の最も上位の計画で、令和元年度から令和12年度までの12年間の計画です。町の行政運営は、緊急な場合などを除き、総合計画に基づいて実施しています。

行政評価とは

行政運営全般の見直し、改善を進めていくための仕組みです。町の様々な事業などについて、評価し、評価結果を総合計画や予算編成に活用します。

トップページ↓行政情報↓総合計画

(<http://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/>)



審議会の主な意見

全体を通して

公共施設については、施設管理費や運営費に多くの費用がかかっており、今後も老朽化等による費用の増加が予想されるため、似たような機能を持つ公共施設の集約化・統廃合を検討するとともに、今後も必要な施設は、経営改善や町民が利用しやすい施設を目指していく必要があります。

公共施設の様々な課題に対して、着実に解決に向かって進めていくためには、行政改革の推進が必要不可欠であることから、下川町行政改革推進本部において、答申意見を踏まえた具体的な議論を進めていきたいと思えます。

また、公共施設の使用料見直しについて、町の方針では、新型コロナウイルス感染症収束後に見直しすることですが、コロナを前提とした社会づくりが求められている時代だと認識し、早急に使用料の見直しを検討することを希望いたします。



福祉・教育部会

○施策項目「障害者福祉」

障害者支援施設「山びこ学園」については、コロナ禍でイベントへの参加が難しく、地域の方々との交流に制約がありますが、工夫しながら交流する機会の創出に努めていきたいと思えます。

○施策項目「学校教育」

学校給食共同調理場については、赤水や濁り水で調理に支障が出る可能性があるようですが、リスクを予測したマニュアルを作成するなど、担当者が代わっても速やかに対応できる方法を検討していただきたいと思えます。

※教育委員会の施設全体

時代の変化に対応した運営と利用者の利便性のためにも、利用簿の記入については、町内外別の記入の追加、男女別記入の廃止、記入方法の見直し（用紙から備え付けファイルへ）をしていただきたいと思えます。

快適環境・地域づくり部会

○施策項目「住宅」

下川町では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指していますが、公営住宅と町営住宅についても、

○施策項目「消防・救急救助」

消防水利維持管理事業については、今年町内で発生した火災について、水道管の口径が小さく、複数の消防車からの給水活動に限界があったとのことですが、今後は防火水槽の設置と水道管の交換を比較し、どちらが安いのかを検討しながら、消火活動に必要な対策を講じていただきたいと思えます。

消防庁舎については、役場庁舎の建て替え等と同時期で調整中とのことですが、消防庁舎は既に耐用年数が経過しており、人命に関わる重要な施設であるため、役場庁舎以上に早急に検討する必要があります。下川町全体のグランドデザインを考慮したうえで、消防庁舎単独の検討も視野に入れながら、具体的な検討を進めていただきたいと思えます。

産業経済部会

○施策項目「産業」

特用林産物栽培研究所については、地域にとっても大切な施設であり、地産地消の観点からも非常に重要な施設だと思えます。民間移行を見据えて経営者の募集を検討しているとのことですが、引き続き魅力的な施設を維持していけるような工夫をしていただきたいと思えます。

○施策項目「農業」

農産物加工研究所については、近年、トマト加工品の市場は右肩下がりであり、トマトジュースも同様に売り上げが落ちているとのことですが、その中でも付加価値を付けたものや高単品の売れ筋が良いということですが、これまで使っている温かみのあるラベルに敬意を表したうえで、ラベルの更新や既存のものは残しつつ2種類のラベルで販売をするなど、まずは手に取ってもらえるような工夫をしていただきたいと思えます。